



1. 水の揺れを超音波を用いて読み取るセンサーの仕組みについて話す澤山社長 2. 敷地内に試験用の電柱を埋め、地下にある電柱の破損を調べる実験のようす 3. 世界最大と最少のプロープなど 4. コンクリート表面などの亀裂を検知するプロープ(検査器具)

有限会社ニューセンサー開発 NEW SENSOR Incorporated

わが社のすゝ技

人とのつながりから生まれた
最先端のセンサー技術

創業：平成12年4月11日
 主な事業：非破壊検査技術および周辺設備機器に関するシステムコーディネート、電子装置に関する開発研究および技術協力、医療機器の研究・開発
 本社：湯山台2丁目19-10 ☎(792) 8666

——有限会社ニューセンサー開発の澤山智之社長に「世の中にないものを作り出す」会社の「すゝ技」についてお聞きしました。

きっかけは電器屋さんへの憧れ

超音波を用いたセンサー技術は、さまざまなことを可能にします。例えば、コンクリートの中に混ざった異物の調査や、風力発電の風車の羽を止めるボルトの傷、電柱が車の衝突などにより地下で折れているかどうかを発見するなど、皆さんの安全に関するものが多いです。

この仕事をするようになったきっかけは、子どもの頃に家のテレビを直してくれた電器屋さんへの憧れでした。

独立までを振り返ると、とにかく、周りの人に恵まれましたね。大阪大学大学院の先生から依頼を受け、研究・開発したものを始め、たくさんの方や企業から声を掛けていただいて商品開発を行っています。静かで環境が良く、交通の便にも優れた川西のこの地に開業してから、ますます人との交流が増えているように思いますね。

私たちは「世の中にないようなものを作り出して、人の役に立ちたい」と思っています。大切なのは、決して諦めないこと。最先端の研究を続けていくことがわが社の自慢ですね。

センサーの部分は、プローブという超音波を出す部分とそれを受け取る部分を組み合わせた部品で構成されています。私たちは世界最大で最高性能のプローブや世界最小で直径2ミリのプローブなどを開発し、さまざまな検査や研究に役立てられています。

この技術の応用例では、福祉施設などで人の動きを検知するセンサーがあります。これはビールグラスで揺れるビールを見たときに、水のわずかな振動を検知することで人の動きを読み取る仕組みを思いついたものです。そのほか、コンビニなどで売られる食品に、異物が入れられていないかを瞬時に感知するセンサーの開発などにも取り組んでいます。これからの夢は、皆さんの安全を守るセンサーを搭載したロボットの開発ですね。

